

機械器具 74 医薬品注入器
一般医療機器 経腸栄養注入セット 70400000

ジェイフィード E N シリンジ
(L D T タイプ、チップ付)

再使用禁止

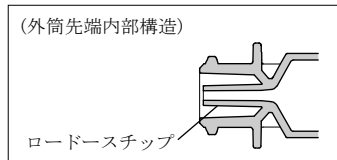
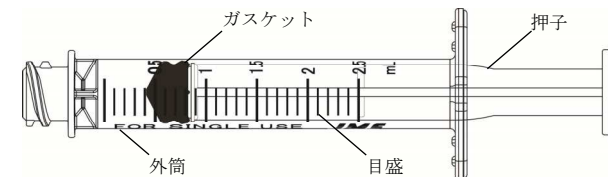
【禁忌・禁止】

再使用禁止

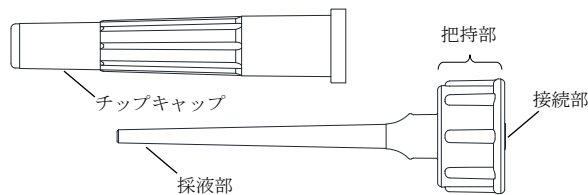
【形状・構造及び原理等】

〈構造図(代表図)〉

**1. シリンジ



2. チップ



・外筒先端及び接続部は ISO 80369-3 に対応している。

〈原材料〉

構成部品	原材料
外筒	ポリプロピレン、シリコンオイル
ガスケット	スチレン系熱可塑性エラストマー、シリコンオイル
チップ	ポリエチレン

〈仕様〉

項目	公称容量 (mL)	圧力 (kPa)
耐圧性	1, 2.5	392

〈原理〉

本品は、栄養剤容器等から経腸栄養剤等を採取し、カテーテル等に接続し、経腸栄養剤等を投与するために用いるシリンジである。

【使用目的又は効果】

経腸栄養剤等の採取や投与等に用いるシリンジである。

【使用方法等】

1. 包装から本品を取り出す。
2. チップとシリンジの接続部に緩みがないことを確認する。緩みがある場合は、シリンジにチップを押し込む。
3. 押子を外筒先端まで押し、本品内の空気を押し出す。

4. 把持部を持ってチップからチップキャップを外し、採液部より栄養剤等を採取する。
- **5. チップを外し、外筒先端を ISO 80369-3 に適合したオスコネクタに確実に接続する。
6. 栄養剤等を投与する。

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

1. 使用前にチップとシリンジの接続部に、緩みや外れがないことを確認すること。[接続が浅い場合、漏れ、空気混入、外れが生じるおそれがある。]
2. シリンジからチップを取り外す際は、チップの把持部を持ち、回しながら取り外すこと。[採取した栄養剤等が飛散するおそれがある。]
- **3. 他の医療機器を接続する際は、外れないように確実に行うこと。また、過度なかん合をしないこと。[コネクタが外れない、又はコネクタが破損するおそれがある。]
- **4. 外筒先端のかん合部に栄養剤等が可能な限り付着しないように注意すること。付着した場合は、栄養剤等をふきとり、接続すること。[接続部に緩みが生じる、又は栄養剤の固着によりコネクタが外せなくなるおそれがある。]
5. 接続部に横方向の力を加えないこと。[液漏れ、空気混入が生じるおそれがある。]
6. 押子を引く際は次の事項に注意すること。
 - (1) 外筒印刷部の目盛を越えて引かないこと。[押子が外筒から外れ、液漏れが生じるおそれがある。]
 - (2) 押子をまっすぐゆっくり引くこと。[強く引く、ねじりながら引いた場合は、外筒との密着性が低下し、液漏れやガスケットの外れが生じるおそれがある。]

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. 使用中は破損、接続部の緩み及び液漏れ等について確認すること。
2. 固形物を含む、又は固まりやすい栄養剤等を採取又は投与する場合は、チップ及び外筒先端が詰まるおそれがあるので注意すること。
3. 外筒部を強く握る等、圧迫するような力を加えないこと。[ガスケットと外筒との密着性が低下し、液漏れ、空気混入が生じるおそれがある。]
- *4. 目盛等の外筒印刷部については次の事項に注意すること。
 - * (1) 強くこすらないこと。[印刷が消えるおそれがある。]
 - * (2) 栄養剤等が付着した状態で放置しないこと。[印刷が剥離するおそれがある。]
 - * (3) 本品で薬液等をかき混ぜて薬液等を付着させないこと。[印刷が剥離し、薬液等に混入するおそれがある。]
5. 本品に衝撃を与えないこと。[破損するおそれがある。]
6. 冷蔵保存等低温下での取扱いに注意すること。[低温下では本品の耐衝撃性が低下する。また、栄養剤等が固化し、外筒先端が詰まるおそれがある。]
- **7. 本品を 60℃以上の温度にさらさないこと。

**〈不具合・有害事象〉

その他の不具合

空気混入、漏れ、外れ、緩み、固着、印刷消え、破損、詰まり

【保管方法及び有効期間等】

****【有効期間】**

使用期限：3 年〔自己認証(当社データ)による〕
包装の使用期限欄を参照すること。

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者
株式会社ジェイ・エム・エス

問い合わせ先
TEL 0120-923-107